

これからの取り組み（予定）

あなたの想いを聴くインタビュー（市民編）

平成21年2月頃から、市民の方を対象に、松戸市の将来を描く後期基本計画の策定プロセスとして、松戸の強みや将来ビジョンについてを職員がお伺いする「あなたの想いを聴くインタビュー（市民編）」を実施します。

職員が市民の方へインタビューすることを通して、松戸市への想いを聴くと同時に、まちづくりに参加してみようという思いを強くしていただきたいと想います。また、よりよい松戸市を創り出すために行政と市民の共創（市民と協働できる関係創り）を目指します。



（仮称）松戸まちづくり市民会議の開催

平成21年7月頃から、関係団体関係者、学識経験者や公募市民で構成する「（仮称）松戸まちづくり市民会議」を開催することを予定しています。市民会議は、5つの分科会に分かれて対話を基調とした話し合いをします。



市民の方が、自ら行動を起こしたくなる目標やありたい姿を話し合いを通して明らかにしていくことを目的としています。また、話し合いを通して、関係者同士が協働できる関係創りを行います。



松戸市民フォーラム

～私たちの明るい未来を共に創りあげる～

2009年1月27日(火)

18:30～20:30(開場18:00)

- ◇会場：松戸市民劇場 ホール
松戸市本町11番地の6（松戸駅西口徒歩5分）
- ◇対象：市民、松戸市の将来に関心をお持ちの方
- ◇定員：300名

- 講演 **大住 荘四郎氏**（関東学院大学経済学部教授・経済経営研究所長、内閣府経済社会総合研究所客員主任研究官）
- 講演 **高間 邦男氏**（株式会社ヒューマンバリュー 代表取締役）

◇ 本フォーラムの目的

- 松戸市では、総合計画後期基本計画（H23～32）の策定に取り組んでいます。計画策定にあたっての市民参加のあり方を共に学びます。
- 地方行政における「総合計画」策定についてのトレンドから、松戸市として望ましい方向を展望します。
- 現代は正解がひとつであるような問題は少ない時代であり、だからこそ問題の解決には、対話が大切であると言われています。松戸市の未来を共に創りあげるために大切なことは何かを一緒に考えます。



◇ 問合せ

松戸市 総務企画本部政策調整課

◇TEL：047-366-7072

◇FAX：047-366-1204

◇E-Mail mcseisaku@city.matsudo.chiba.jp

◇主催：松戸市

プログラム

総合テーマ：私たちの明るい未来を共に創りあげる

18：00 開場

18：30 開演

主催者あいさつ

18：40 **講演1：自治体マネジメントの方向性＝内発・価値・共創**

大住荘四郎氏（関東学院大学経済学部教授・経済経営研究所長、
内閣府経済社会総合研究所客員主任研究官）

19：30 **講演2：ポジティブアプローチと共創でより良い未来を生み出す**

高間 邦男氏（株式会社ヒューマンバリュー 代表取締役）

20：30 閉演

講師プロフィール

大住荘四郎氏

（関東学院大学経済学部教授）



京都大学法学部卒業後、
経済企画庁（現内閣府）、
神戸大学経済学部助教授、
新潟大学経済学部教授等
をへて現職。大阪大学博
士（国際公共政策）、現
在、内閣府経済社会総合
研究所客員主任研究官、

厚生科学審議会臨時委員、総務省政策評価
会委員他、政府関係機関、地方自治体での
公職を多数兼務。専門は、パブリック・マ
ネジメント、都市・地域マネジメント、公
共組織や地域における組織開発。

<主な著書>

『NPMによる行政革命：経営改革モデルの構築と実
践』（単著）2003年、日本評論社

『NPMによる経営革新：WillとSkillの統合モデル』
（単著）2005年、学陽書房

『実践：自治体戦略マネジメント－SWOT/CRMに
よる地域価値の創造』（編著）2005年、第一法規

高間 邦男氏

（株式会社ヒューマンバリュー 代表取締役）



明治大学商学部卒。産業
能率大学総合研究所勤務
後、1985年現ヒューマ
ンバリューを設立。企業
のニーズに合わせて研修
システムや変革プロセス
を協働開発し、企業内で
展開することを主に実施。

1996年から「学習する組織」についての研
究調査を行い、現在はポジティブアプロ
ーチでの組織変革の手法の紹介を行っている。

<主な著書>

『コーチングの技術～組織が変わり成果が変わる
コーチングとは?』2000年、オーエス出版

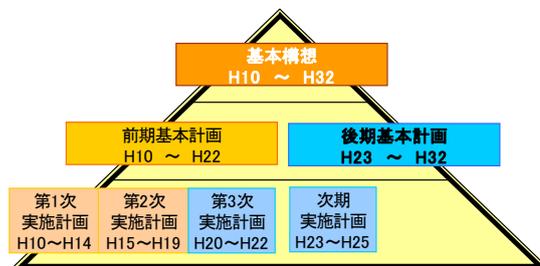
『学習する組織～現場に変化のタネをまく』2005年、
光文社新書

『組織を変える「仕掛け」～正解なき時代のリー
ダーシップとは～』2008年、光文社新書

松戸市総合計画後期基本計画策定にあたっての取り組み

(イマジンまつど ～私たちの明るい未来をつくる～)

- 松戸市では、「松戸市総合計画前期基本計画」の期間が平成22年度までであることから、今年度から3年間をかけて、「後期基本計画」を策定することとしています。
- 今回の「後期基本計画」の策定過程においては、できるだけ多くの市民や職員の想いを聴き、計画に反映していきたいと考えています。
- このように、できるだけ多くの市民や職員に、松戸の明るい未来を想像してもらい、その想いを共有し、力を合わせて創造していく取り組みに、今回の計画策定がつながることを期待して、一連の取り組みを「イマジンまつど～私たちの明るい未来をつくる～」と仮称しています。
- 今後、この呼び名自体も、職員の方、市民の方の想いを反映して、より良いものにしていきたいと考えています。



ここまでの取り組み

あなたの想いを聴くインタビュー（職員編）

平成20年11月から市役所職員を対象に、リレー式インタビューを実施しました。松戸市の将来を描く後期基本計画の策定プロセスとして、松戸の強みや将来ビジョンについて、インタビューを実施し、その内容をまとめることで、お互いにどんな想いや考えをもっているのかを共有しました。1,122名の職員が参加しました。



実施後の感想としては、「普段、余り考えていないことが、はっきりしてきたような気がする」「これは、自分が話したかった内容だと感じた」「こういう気持ちで話したのは久しぶり」などがありました。



職員みんなの対話会

平成21年1月7日、柿ノ木台公園体育館に、市役所職員137名が集まり、対話会を開催しました。

対話会の進め方は、まず、他の人と話し合いたいと思う議題やテーマを持っている職員が主体的に17のテーマを出しました。参加者は、テーマをみて、自分の参加するセッションを選び、午前・午後1回ずつ計2回の話し合いを行いました。

話し合った結果は、議事録にまとめ、参加者は、特に関心をもったテーマに投票を行い、その結果、関心の高かった「松戸駅前の発展」「子育てしやすく子どもも親も笑顔になれる」の2つのテーマについては、再度、全体で話し合いを行い、「職員ももっと松戸の良さを知ろう」などの意見がありました。